

## 公表 事業所における自己評価結果

事業所名	ぼえむ【放課後等デイサービス】				公表日	7年 5月 16日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	100%	0%	学習時に部屋を仕切って、出来るだけ集中しやすい環境を作っています。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	100%	0%	ご利用人数を把握した上で、職員の配置を行っています。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	100%	0%	荷物整理等も分かりやすいように配置しています。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	80%	20%	営業時間終了後に毎日清掃を行っています。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	100%	0%	パニック時の静養スペースの確保なども適宜行っています。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	100%	0%	全体ミーティング等で共有含め行っています。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	80%	20%		代表職員だけでなく、職員全体での話し合いもしていきたい。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%	0%		
	9	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	100%	0%	施設内研修や、外部から講師を招いて研修を行っています。	
適切な支援の提供	10	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	100%	0%	話し合ってから作成したものを公表しています。	
	11	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	100%	0%		行っているが、アセスメントをする方法を分かりやすく、やりやすい方法を検討していきたい。
	12	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	100%	0%		
	13	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	100%	0%		
	14	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	80%	20%	支援内容の方向性などや、保護者様の意見も組み込んで設定しています。	
	15	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	100%	0%		
	16	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	100%	0%	曜日や週ごとなど、固定化しないように話し合っています。	
	17	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	100%	0%	支援経過などを見直して、作成しています。	
18	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	80%	20%		必ずではない場合があるので、改善していきける仕組みづくりを考えていきます。	

事業所自己評価結果 ぼえむ【放課後等デイサービス】2

適切な支援の提供	19	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	80%	20%	退勤時間や送迎等でその日のうちに時間を取る事は難しい職員に関しては、翌日支援開始までに話し合うか、Slackを活用して共有しています。	
	20	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	100%	0%	毎日支援終了後に各児童ごとに記録しています。	
	21	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	100%	0%		
	22	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか。	100%	0%		
	23	子どもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	100%	0%	小さなことから「選ぶ」という行動が習慣化するように支援しています。(おやつや遊びの場面など様々)	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	100%	0%	共通して児発管の職員が参加しています。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	80%	20%		学校の先生とも密に関わることができるようにしていきたい。
	26	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	80%	20%	原則として直接の共有はせず、保護者様や相談支援員を介して共有しています。	
	27	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	80%	20%	原則として直接の共有はせず、保護者様や相談支援員を介して共有しています。	
	28	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	100%	0%	相談支援員の方を介して行っています。	
	29	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	100%	0%	アドバイザーと契約もしており、適宜相談や連絡も行っています。	
	30	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	100%	0%	地域のイベントなどにも積極的に参加しています。	
保護者への説明等	31	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	100%	0%	河内長野市児童支援連絡会に参加しています。	
	32	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	100%	0%	保護者様専用LINEや連絡帳で状況などの連絡を取り合っています。	
	33	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	100%	0%	外部から講師を招き入れ、講習の場を設けています。またペアレントトレーニングの情報提供をいつでもできるよう収集している。	
保護者への説明等	34	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	100%	0%	契約時に説明している。	
	35	放課後等デイサービス計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	100%	0%	情報収集も家族、または児童で方法を考慮しながら行っています。	
	36	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	100%	0%		
	37	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	100%	0%		

事業所自己評価結果 ぼえむ【放課後等デイサービス】3

保護者への説明等	38	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	100%	0%	毎年年に1度以上開催しています。みかん狩りやBBQなど楽しく参加できるイベントとして開催しています。	今年は講習会・茶話会だったのできょうだい参加が難しかった。
	39	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	100%	0%		
	40	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	100%	0%	肖像権にも注意しながら行っています。	
	41	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	100%	0%	イニシャルで伝えたり、必要以上の事は伝えないように気を付けています。	
	42	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	80%	20%		視覚優位な児童に対する配慮を、さらに良くなる方向へと思索していきます。
	43	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	60%	40%	開かれたイベントには積極的に参加しているが、主催してはしない。	
非常時等の対応	44	事故防止・緊急時対応・防犯・感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	100%	0%	年に1～2回感染症対策の研修や、避難訓練も行っています。	
	45	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	100%	0%	通報の訓練含め、避難経路の確認、消火器体験の訓練も行っています。	
	46	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	100%	0%	予防接種は保護様にお任せしていますが、服薬やてんかん発作等は細かに聞き取り対応できるようにしています。	
	47	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	100%	0%	保護者様からの指示の下対応している。	
	48	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	100%	0%		
	49	子どもの安全確保に関して、家族等との連携を図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	100%	0%	事業所が使用する避難所等は保護者様に周知している。	
	50	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	100%	0%	虐待防止委員会を設置し、年に2回以上の研修を行っています。	
51	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	67%	33%	現在該当児童は在籍していないが、同意書等整備をしている。		